

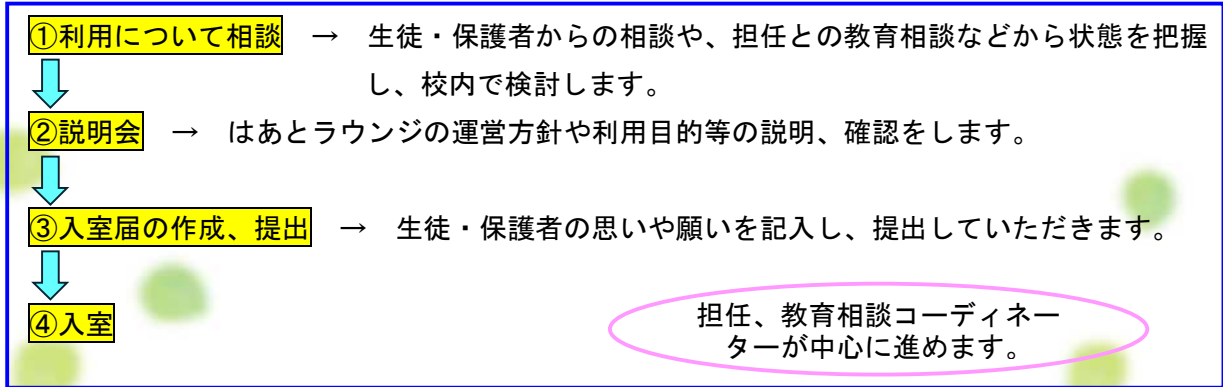
校内はあとラウンジについて

校内はあとラウンジとは

学級に入ることやずっといることが難しい、あるいは登校することで精いっぱいという生徒が過ごすことのできる居場所で、以下のような基本方針で運営していきます。

はあとラウンジの役割、目的	・学校にいる時間を増やし、学習習慣や生活習慣を改善していく場所(オンラインで授業を受けることも可) ・教室に戻ったときの学習の遅れを取り返すように、補充的な学習を行う場所 ・自分の学力に応じた学習を個別に、自分で調整しながら進められる場所 ・教室復帰を目標に、心のエネルギーの充電を図る場所
相談室での活動	・相談をする ・勉強をする ・給食 ・掃除 ・気分転換をする ・作業 ・読書 など
開室日	・月曜～金曜（行事・テスト等の実施、利用者の状況に応じて）
時間	・ 8：00～16：00
場所	・北館2F はあとラウンジ

校内はあとラウンジ利用までの流れ



校内はあとラウンジでの過ごし方

・学校の日課、生活に合わせ、以下のような過ごし方を基本とします。（6時間の場合）

1 時間目		2 時間目		3 時間目		4 時間目		昼	5 時間目		6 時間目	
学習 タイム	休憩 タイム	学習 タイム	休憩 タイム	学習 タイム	休憩 タイム	学習 タイム	休憩 タイム	昼 休み 給食	学習 タイム	休憩 タイム	タイ ム	リ ラ ッ ク ス

- ・ 1 時間の授業時間を、「学習タイム」（35 分）と「休憩タイム」（15 分）に分けて過ごします。
- ・ その日の最終授業時間（月木は5 時間目、火水金は6 時間目）は「リラックスタイム」とし、交流・休憩・作業等を通じて利用者同士やはあとラウンジスタッフとのコミュニケーションを図れる時間とします。
- ・ 給食の時間は、はあとラウンジか教室で過ごします。
- ・ 帰りは、はあとラウンジスタッフか学年の先生とあいさつをし、翌日の予定等を確認して下校します。

校内はあとラウンジでの学習

- ・学習内容は、担任と相談したり自分で考えたりしながら決めます。(各教科の課題やワークシート、学習用タブレットの「Qubena」など)
- ・はあとラウンジスタッフは学習指導は行えないため、原則自習となります。
- ・教室で行われている授業にオンラインで参加することも可能です。

校内はあとラウンジでの約束

- ・利用者同士がお互いを尊重し、他の人の学習や相談を妨げるなどの迷惑をかけないこと。
- ・自分が設定した目標に向けて、学習計画を自分自身で立てること。
- ・「学習タイム」と「休憩タイム」をしっかりと区別し、メリハリをつけて過ごすこと。
- ・はあとラウンジスタッフや教員の指示や約束、マナーを守って過ごすこと。
- ・下校時や室外へ出る際には、はあとラウンジスタッフか教員とあいさつをしたり伝えたりしてから出ること。

校内はあとラウンジに関わる職員

○はあとラウンジスタッフ

校内はあとラウンジに常駐し、悩みや相談したい生徒の話し相手になったり、支援をしたりする職員です。保護者の方の相談にもものります。学習指導は行わず、はあとラウンジ内で過ごす「生徒の見守り」が中心となります。

○教育相談コーディネーター（教頭）

校内はあとラウンジへの入室を検討する保護者の方の相談に乗り、入室までの流れをコーディネートしていきます。入室後も、利用生徒の様子を観察し、学習の仕方やはあとラウンジ内での過ごし方等について生徒にアドバイスします。

○養護教諭

心の不調を訴える生徒の話を聴き、状況に応じて校内はあとラウンジへつなぎます。

○教育相談主任

教育相談や生徒・保護者へのアンケート等を通じて、生徒の心の健康について把握し、改善や向上に向けて関係教職員と検討します。入室後も、利用生徒の様子を観察し、はあとラウンジ内の環境整備や、学習の仕方や過ごし方等について生徒にアドバイスします。

○スクールカウンセラー 大澤(水曜日) 前野(金曜日午後)

悩みを抱える生徒・保護者との面談を行います。予約は、担任や教育相談主任を通して行います。

○スクールソーシャルワーカー

困りごとのある保護者と面談し、解決方法についてアドバイスしたり、解決に向けて適切な行政サービスにつなげたりします。

○特別支援コーディネーター（教務主任）

集団生活の苦しさが本人の発達特性にある場合などに、どのような支援を行うことがよいか、特別支援教育の観点から相談にのります。